

予算特別 委員会質疑



当初予算は、議長を除く11人で構成する予算特別委員会で集中審議をしました。

特別委員会は、特定の案件を審議あるいは調査するために議会の議決に基づいて設置される委員会です。重要な議案を扱ったり、重要な問題を調査します。

新年度予算のここが聞きたい！！

国がふるさと納税に関する法改正 本町が受ける影響は

問 ふるさと納税は国の税制改正があり規制が設けられたが、本町にはどのような影響を受けるのか。

答 国の指定を受けた自治体の返礼品のみ、ふるさと納税の返礼品として提供できる仕組みになり、地場産業等と呼べないものに対して



急行が停車するに ふさわしい駅に

問 開成駅に急行が停車し、それに伴う駅周辺環境をどのように整備していくのか。

答 急行停車により駅の利用が増加し、周辺の住宅の建設や事業所等への通勤が増えること、その上で、開成駅に求められるポテンシャルを最大限活かしていく機能を考えていくために、まずは基本構想に向けた条件を整理していく。新年度は基本構想を取りまとめる前段の調査であり、交通量や公共交通などの駅の利用状況も注視しつつ、整備する時期を考えていく。

子育て支援センター 今後の事業展開は

問 法人の子育て支援センターが一つ閉所になるが、駅前の子育て支援センターをどのように充実させていくのか。

答 毎月1回、父親向けのサロンを実施し、子育て経験のある親御の講座を開き、父親の交流も含めて男女一緒に子育てをすること、専門職である助産師、保健師、栄養士、歯科衛生士の方が、定期的に子育て支援センターに向いて親御さんの相談に応じていく。



また、3歳児教育が始まるので、乳児期に友達をつくる目的で、0歳のお子さんの集う「あかちゃんひろば」を立ち上げる計画がある。

コンビニ交付サービス開始 利用者を増やすためには

問 コンビニ交付サービスの導入にあたり、利用者の見込みは。また、利用者を増やすための施策は。

答 当初予算の見込みでは、全体の3%（325枚程度）を見込んでいます。今後はコンビニ交付をするためのマイナンバーの普及も兼ねて、近隣で導入している自治体は少ないことなどの広報活動を進めていく。



町民センター図書室 利便性の向上を

問 図書室の蔵書システムを更新するところがあるが、現在は足を運ばなければ本を借りることができない。電話予約ができるなど利用者の利便性の向上を目指すべきと考えるが。

答 機器の更新を行う予定だが、予算の範囲でどのようなことができるか検討していく。電話予約については、実際に足を運ばれた方が借りられないという状況になってしまいう課題もある。



マイナンバーカードを 普及させるための策は

問 町はマイナンバーカードをどのようにして普及拡大を図っていくか。

答 来年度は役場にあるパソコンを使って写真撮影するなど、申請の補助を行う。また、



10月から消費税が増税予定 給食の食材費大丈夫か

問 10月から消費税が増税となる。以前、食材費は財政的に苦しいと聞いたが、現状は。

答 給食は軽減税率の対象になっており、消費税増税による影響はない。学校栄養士と相談する中で、昨年度は食材費が高騰する時期があつたが、現在は落ち着いている。年度によって食材費にバラつきがあるので、その都度対応していく。



感染症予防 対策は万全か

問 本町はインフルエンザ等の感染症の予防接種に対し、近隣に比べて若干助成が少ないが、今回の予算ではどのように変わったのか。

答 高齢者のインフルエンザ予防接種助成は、昨年から助成を増やし、自己負担額を1,500円の予算で組んでいる。また、風しんの検診は、前年度は約30人分を計上していたが、国・県でも風しんに対しての対策を強めており、約300人分を予算計上している。

